

和納小 CS 通信 わなみ

第3回 学校運営協議会報告

11月7日(金)に、第3回学校運営協議会を開催しました。

和納ふれあいウォークラリー，前期学校評価と教育ビジョン，次年度のカリキュラム，その他について協議が行われました。

※コミュニティ・スクール(CS)とは、学校運営協議会を設置した学校のことです。

令和7年度和納小学校 学校運営協議会委員名簿 (敬称略)					
委員名		所属・役職	委員名		所属・役職
会長	福島 實	岩室地区民生児童委員協議会長， 人権擁護委員，セーフティスタッフ	委員	千葉 生恵	和納小学校 PTA 副会長
副会長	佐藤 愛知	和納小学校 PTA 会長	委員	小林 弘樹	和納小学校 PTA 保護者
委員	田中 隆男	岩室地域コミ協副会長，後援会副会長， 和納地区自治会代表，セーフティスタッフ	委員	和田 有美	和納小学校 PTA 保護者
委員	堀澤 真一	和納小学校後援会長，三田自治会長	委員	大矢 和憲	和納小学校校長
委員	石田 伸一	野きろの杜代表	委員	杉山 克也	和納小学校教頭
委員	川邊 素子	岩室地域児童館館長， 和納小学校マーチング部全体指導者	委員	瀬野 徹	和納小学校教務主任
委員	永塚 健	Ken Product Desing 代表， 和納小学校 PTA 広報部部長	事務員	川上 昭子	和納小学校地域教育コーディネーター

〔運営委員 13 名，CS 事務員，オブザーバー 1 名(海津コーディネーター)出席，1 名欠席／会場:会議室〕

第3回 学校運営協議会 協議内容

1. 和納ふれあいウォークラリーについて

<実施概要>

- ・9月に実施した地域体験活動
- ・20箇所の体験施設を設定
- ・異学年班(1-6年生)で地域を巡る活動

<成果>

- ・地域の方々との交流が実現
- ・子どもたちが地域の新たな魅力を発見
- ・ピアサポート(学年間交流)の実現
- ・邦楽体験など，普段触れられない文化体験が好評

<課題>

- ・準備期間の不足：夏休み明けから2週間で実施となり，打合せが不十分だった
- ・情報共有の遅れ：教職員や子ども，保護者への説明や周知が直前となった
- ・コース決定の遅延：児童への資料提示が遅く，班ごとの話し合い時間が不足



花農家長谷川さん
を訪問。花(ケイト
ウ)の収穫体験をさ
せて頂きました。



- ・実施時期: 9月は残暑が厳しく、体調管理面で不安
- ・ウォークラリー要素: 体験活動とポイント獲得の両立が困難

<改善提案>

- ・実施時期: 10月～11月中への変更を検討
- ・準備期間: より早期からの計画立案と関係者との調整
- ・活動内容の精選: 体験活動に特化し、ウォークラリー要素は見直す
- ・記録方法: 動画撮影など、事後共有の仕組みの構築
- ・継続性: 3年サイクルで全コースを体験できる計画

<来年度に向けて>

- ・継続実施の方向で調整
- ・CS委員と学校の役割分担を明確化
- ・受入施設との早期連携体制の構築

2. 前期学校評価と教育ビジョンについて

<次年度教育ビジョンの改訂提案>

- ・現行ビジョンは令和5-7年度の3年次
- ・新潟市「にいがた学びのコンパス」の策定
- ・学校の現状と課題の変化等を踏まえて見直し、改訂を図る

<CS委員からの意見>

- ・学力の重要性: 将来の選択肢を広げるため基礎学力は不可欠
- ・しなやかさ・粘り強さ: 失敗を恐れず挑戦し続ける力
- ・表現力と交渉力: 自分の意見を伝える力
- ・教養とお金の使い方など実生活に必要な知識
- ・広い視野: 俯瞰して物事を見る力をつけてほしい

3. 次年度のカリキュラムについて

<クラブ活動の地域連携提案>

- ・「地域とつながるクラブ活動」への改善提案
- ・地域講師を招いた体験型クラブの年間設置

※ 提案されたクラブ例

- ・アグリクラブ（農業体験等）
- ・アウトドアクラブ
- ・クラフトクラブ
- ・音楽クラブ ・陸上クラブ
- ・イベントクラブ（野きろの杜の街びらきで出店）
- ・その他、地域資源を活用したクラブ

<目的>

- ・地域とのつながり強化
- ・学校外での活動継続の可能性
- ・中学校の部活動地域移行への準備

4. その他：次回 第4回学校運営協議会開催日 2月13日（金）予定



三社神社にて拍子方体験



とみおかキッチンガーデンにてオクラ収穫体験



会議の様子

中学校の部活動地域移行が始まる中、子どもたちが放課後に地域で活動できるようにしていくために、小学校から、地域の方と一緒に活動できるように、やりたいことをみつけられるようにしていきたいと考えています。

